

【学会発表一覧(植物系)】

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者(※:筆頭演者)
1	第130回 日本森林学会大会	2019年3月20日~23日	絶滅危惧種オキナワセッコクの自生地と森林管理	2015年から2018年にかけて確認したオキナワセッコク野生株の情報をさらに集積し、林分履歴や地形との関係を解析した結果を報告した。	阿部真・ 阿部篤志 ・齋藤和彦・高嶋敦史・安部哲人・高橋興明・宮本麻子・小高信彦
2	日本植物園協会 第54回大会	2019年5月24日	サガリラン無菌培養苗の馴化・育成技術の構築	奄美大島に自生する絶滅危惧植物サガリランの培養増殖苗を用い、順化育成に最適な温度、光、水分条件について調査した結果を報告した。	※佐藤裕之・植原直・阿部篤志
3	沖縄生物学会 第56回大会	2019年5月25日	データベース「琉球の植物」と島レベルの植物相比較	データベースをもとに、島ごとの種類数、固有植物・絶滅危惧植物の島レベルでの比較、標本採集充足率の現状、日本本土や台湾など近隣地域との植物地理学的関係などについて報告した。	國府方吾郎・海老原淳・ 阿部篤志 ・齋藤由紀子・ 天野正晴 ・中村剛・横田昌嗣
4	沖縄生物学会 第56回大会	2019年5月25日	久米島の植物相調査により新たに見出された維管束植物	久米島の植物相調査により新たに見出された自生維管束植物16種と帰化植物12種について他島の比較を交えて報告した。	齋藤由紀子・ 天野正晴 ・立石庸一
5	日本植物学会 第83回大会	2019年9月15日~17日	広域分布種トサカメオトランの分布拡大要因を共生菌から探る	琉球列島のトサカメオトラン自生個体について菌根菌を調査し、本種の広域分布性と菌根共生の関係を推定した結果を報告した。	辻田有紀・木下晃彦・蘭光健人・前原 良美・ 阿部篤志 ・梶田忠・遊川知久
6	樹木医学会第24回大会	2019年11月23日~25日	沖縄島海洋博公園における南根腐病の発生事例について -感染経路の推定と予防策の策定-	海洋博公園内の樹木の罹病状況を調査し、罹病菌株のクローン解析による感染経路の推定と、その結果を基に策定した予防策について報告した。	※辻本悟志 ・秋庭満輝・佐橋憲生・亀山統一
7	日本植物分類学会 第19回大会	2020年2月29日~3月3日	マチン科ホウライカズラ属の系統分類的研究(予報)	台湾チトセカズラ、リュウキュウホウライカズラ、エイシュウカズラ、チトセカズラの異名とされる <i>Gardneria hongkongensis</i> について、予備的に実施した核DNAと葉緑体DNAによる系統解析の結果を報告した。	内貴章世・ 天野正晴 ・ 阿部篤志 ・東馬哲雄
8	第67回 日本生態学会大会	2020年3月4日~8日	絶滅危惧種の分布フロント個体群を対象としたゲノムワイド解析	日本では琉球列島のみにごく少数個体が生育する、ヤドリコケモモ、タイワンホトギス、ナガミカズラ等の植物種を対象に、遺伝的多様性と遺伝構造の解明を行い適切な保全策の構築を試みた結果を報告した。	芝林真友・國府方吾郎・ 阿部篤志 ・横田昌嗣・遊川知久・陶山佳久・内貴章世・栗田和紀・永野惇・本庄三恵・井甕裕司
9	第131回 日本森林学会大会	2019年3月20日~23日	絶滅危惧種オキナワセッコクの自生地と森林管理(2)	沖縄島やんばるにおいて地域を象徴するオキナワセッコクの生育・分布条件を解明し、脆弱な生物群集を維持するために有効な森林管理を検討した結果を報告した。	阿部真・ 阿部篤志 ・齋藤和彦・高嶋敦史・安部哲人・高橋興明・宮本麻子・小高信彦